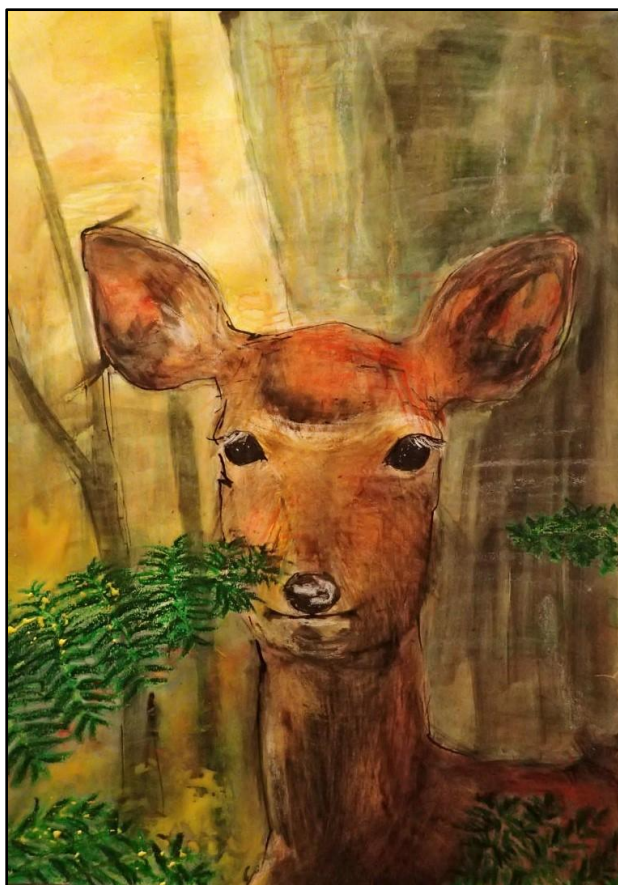


あかけら

No.348



2017. 11

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



あかげら

11月号

も く じ

-
- 01 縦走路「私と盛岡山友会」 村上 明枝
02 今後の日程（事務局）
-
- 03 今後の山行計画
-
- 05 運営委員会報告
07 事務局から
08 県連報告
09 専門部報告
●山行管理委員会 ●教育遭対部
11 志向別グループからのお知らせ
◆グループ銀世界
12 行ってきました！
-
- ▲山行報告
13 姫神山に登った！ 亀田 金花
14 福島の名山に行く 一切経山・磐梯山 小野 由里
16 丹沢山系登山報告 中村美栄子
18 秋田の名山 大平山 古川 孝
19 滝の女神山 小川 優子
-
- 21 救急法・普通救命講習会 松田 徹
22 ある日ある時 “<登山は文化？>” 淡 望天
25 交流の広場



「私と盛岡山友会」

No.204 村上 明枝

私が盛岡山友会に入会したのは、平成9年11月。冬山をやりたい！という思いからでした。ちょうど、冬山入門講座の座学をやっている時期で、当時の「技研部」の講習内容に、目からウロコ。新しい世界が開けたような、とても新鮮でワクワクした気持ちになったことを今でも覚えています。11月末には、さっそく岩手山泊り山行があり、ボーナスを当てにして必要な装備を揃えました。11月とはいえ、岩手山は冬山そのもの。3合目からは初めて「わかん」を使いました。外側からくる~つと回して花魁道中のように歩くんだよ。急傾斜になりだんだん雪が深くなってくると、両手でストックを持ってを崩し、膝で雪を押しつぶして歩くんだよ。先頭を交代しながらのラッセル。2番手になったあたりから苦しくなってきた。先頭はしんどい。息が上がりなかなか進まない。もうすぐ5合目というとき、ぱたりと足が止まった。前方と間が開いていく。先輩が温かい飲み物と行動食を食べるように言い、パンを口にしたら歩を進められるようになった。初めての経験に楽しくて楽しくて仕方がなかった。

今後の日程 (2017/12/1～2018/1/3)

行 事		行 事	
12/1	◇納山祭 (ホテルルイズ)	18	
金		月	↑
2	11/27～12/3 No.002 渡邊健治	19	12/18～12/24 No.416 福山茂和
土		火	
3	▲氷上山 (山行企画)	20	
日	↓	水	
4	↑	21	
月		木	
5	☆第9回常任理事会 (県連)	22	
火		金	
6	12/4～12/10 No.234 古川 孝	23	
水		土	
7	▲岩手山 (ウィーク)	24	
木		日	↓
8		25	↑
金		月	
9		26	
土		火	
10	▲カモメ森山 (名山)	27	◎12月例会(勤労福祉会館) 18:45～
日	↓	水	
11	↑	28	12/25～12/31 No.433 岡 義博
月		木	
12		29	
火		金	
13	◎運営委員会(勤労福祉会館) 18:45～	30	
水		土	
14	12/11～12/17 No.382 三浦明夫	31	
木		日	↓
15		1/1	↑
金		月	
16	▲乳頭山 (四季) ～17日	2	1/1～1/7 No.455 大倉 博
土		火	
17		3	
日	↓	水	

- ◆「やま・ともサロン」は日程を決めず、会員の希望により随時開放します。ご希望の方はお電話ください。090-4318-5128 (No.19 中村美栄子)
- ◆山行管理専用アドレス: morioka_yamakan@freeml.com

今後の山行計画

* 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

【山域/ルート】 氷上山 874.7m			企画	山行企画部
実施日	12月3日(日)	地形図	大船渡・今泉(1/25000)	
目的	山頂から冬の海を見て、陸前高田の復興を祈る			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	登り1時間50分、山頂から陸前高田の街と海が見られる。 奇跡の一本松と復興市街地も見てきたいと思います。			
締切り	11月26日(日)	打ち合わせ	11月27日(月)18:30	場所:おでって2F
問合せ	古川孝 連絡先 TEL090-8923-3120 (メール可)			

【山域/ルート】 カモメ森山 325.9m			企画	岩手の名山歩こうかい
実施日	12月10日(日)	地形図	大槌・釜石(1/50000)	
目的	岩手の山150			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	山頂からの眺望を楽しもう			
締切り	12月3日(日)	打ち合わせ	12月4日(月)18:30	場所:おでって2F
問合せ	千田勝則 連絡先:TEL 019-635-0201			

【山域/ルート】 乳頭山(孫六温泉から)			企画	四季の山
実施日	12月16日(土)~17日(日)	地形図	秋田駒が岳(1/25000)	
目的	小屋泊まりの体験			
難易度	歩行:★★	荷物:★★	技術(無雪期):★★	
コメント	初冬の山と小屋泊まりを楽しみましょう			
締切り	12月8日(金)	打ち合わせ	12月11日(月)	
問合せ	385 小田嘉洋 連絡先:TEL 090-8781-8137 SMS可			

【山域/ルート】 岩手山/柳沢コース			企画	ウィークデイクラブ
実施日	12月7日(木)	地形図	大更 姥屋敷(1/25000)	
目的	平日山行を楽しむ			
難易度	歩行:★★	荷物:★★	技術(無雪期):★★	
コメント	行けるところまで無理せず行ってみましょう			
締切り	11月30日(木)	打ち合わせ	12月4日(月)18:30 場所:おでって 2F	
問合せ	工藤敬子 連絡先:Tel 019-635-3203 FAX可			

【山域/ルート】 兜明神岳・岩神山			企画	山行企画部
実施日	1月6日(土)	地形図	区界(1/25000)	
目的	新年山行			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	恒例の新年山行です。お昼は兜小屋でお雑煮をいただきます。 スキー、つぼ足それぞれ申し込んでください。			
締切り	12月25日(月)	打ち合わせ	12月27日(水)例会で	
問合せ	スキー:古川孝 連絡先 Tel.090-8923-3120 (メール可) つぼ足:高橋陽子 // Tel.080-1842-3586 (メール可)			

あかげら 12月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部
No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp
 までお願いします。締め切りは12月10日(日)です。
 なお、フォーマットは会員専用 HP 左下の様式ダウンロードを御利用ください。

2017年度 第8回運営委員会報告

出席者確認(出席者数：17/23名) 2017.11.8(水)18:45～20:00 勤労福祉会館

渡邊 中村(美) 石澤 高橋(恵) 中村(数) 松田(幸) 小原 千田 古川
山田潔 福山 小川 辰巳 渡部(彩) 岡 大倉 大森

【進行：渡邊 記録：中村(美)】

1 会長あいさつ

いよいよ冬山シーズンになった。冬山では特に事故のないように、運営委員も指導的に協力してほしい。

2 報告事項・確認事項

(1)現在の組織状況(11月8日現在)

会員数101名(男56名/女45名)登山時報 52部

(2)各専門部等の取組状況

- ①山行管理委員会…リーダー会議の報告…別記
- ②教育遭対部…11/1(水)冬山入門講座18人参加、11/26(日)実技(ピッケル・アイゼン)
- ③山行企画部…2018, 1, 6(土)新年山行(区界)予定
- ④組織部…納山祭の申し込み現在40人。ノンアルコールの人4,000円
- ⑤自然保護部…10/7日(土)自然観察会(七折の滝)雨のため中止
- ⑥会報部…「山友」編集の予定

11/17(金)各担当での編集、11/18(土)～全体編集、11/24(金)印刷所入稿

事務局、県連理事会…別記

(3)その他報告事項 カレンダーの贈呈…ICI石井スポーツと勤労福祉会館へ。

3 協議・承認事項

- (1)会のホームページの見直しについて…会員専用お知らせブログに、直接「山行案内」を載せて見易くするとか、削除するブログ、残すブログなど種々意見がでて今後も続けて検討することに。
- (2)緊急対応カードの見直しについて…資料で検討するが、11/12のスキルアップ講座を受けて例会で提示することに。
- (3)11月以降のミニ講座について…11月は、「新緊急対応カード」の説明。
12月は、専門部会後に新年山行の打ち合わせを。
- (4)納山祭の表彰状について…候補は一任される(心当たりの方はメールなどでお知らせ下さい)
- (5)あかぎらに関するアンケートについて…現在回収率42%、70%を目標に各専門部で

声掛けをし、11月末までに提出してもらうことに。

(6) 「女性と登山全国集会」に参加する3人に補助は…予算の範囲内で。

◆当面の予定

11月15日(水)新入会員オリエンテーション	12月5日(火) 県連理事会
11月22日(水)11月例会	12月13日(水) 第9回運営委員会
12月1日(金)納山祭	12月27日(水) 12月例会

☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月/10月	教育遭対部	5月/11月	山行企画部	6月/12月	会報部
7月/1月	組織部	8月/2月	事務局	9月/3月	自然保護部

12月運営委員会 12月13日(水) 18:45~

原稿のお願い

12月号の原稿締め切り

◎ 12月9日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前までとします!

原・稿・の・基・準

■サイズ：B5

■本文枠：幅14cm・縦22cm以内 又は 余白：上・下・右・左20mm

■本文のフォント：10~12ポイント、明朝体、またはゴシック体で

※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守って下さい

□ 送り先 ◎手書き原稿(郵送)

会員No.357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66

Tel 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No.301 久保 加世子

メールアドレス k-kubo@mba.nifty.ne.jp

事務局から

☆ 会員動向（11/9 現在）

会員数 101 名 （男 56、女 45） 登山時報 52 部

☆ 10 月例会で追加名簿を配布しました。

手元に届いていない方はお知らせ下さい。

（個人情報ですから取扱いには十分注意してください）

☆ 会報に関するアンケートをまだ提出していない方は、11 月中に提出してください。

◆ 当面の予定

12 月 1 日（金） 納山祭	12 月 27 日（水） 12 月例会
12 月 5 日（火） 県連理事会	1 月 6 日（土） 新年山行(区界)
12 月 13 日（水） 第 9 回運営委員会	1 月 10 日（水） 運営委員会

本日の会場担当は 山行企画部です

12 月例会は 12 月 27 日（水） 18 : 45～

2017年度 第8回県連理事会報告

2017.11.7（火）19:00～花巻市学園都市会館室

出席：渡邊健治、千田勝利

1 会長挨拶

- ・次年度に向けた整理をそれぞれ分担してやっていきたい。11月11、12日の奥羽ブロック協議会に全国連組織担当の藤本さんが来県する。

2 報告事項

- (1) 全国自然保護担当者会議報告（10/28, 29 日光市）
 - ・22県連50名の参加。
 - ・浦添理事長挨拶：全国のクリーンハイクの活動は、ゴミを持ち帰るモラルを向上させた。44年間続いているのは担い手が育っている証拠である。登山路、水質、野生鳥獣のモニタリング活動がつながってきている、様々なクリーンハイク活動によって、研究者、行政を巻き込み登山者の地位向上につながっている。
 - ・クリーンハイク活動、放射線測定、リニア新幹線、ニホンシカ、原子力発電、ビーナスライン、太陽光パネル等について、各県連から報告と質疑。
- (2) 第1回救助技術交流集会報告（11/4, 5 川上村）
 - ・2名参加（計72名）宮城県連と帯同した。
 - ・岩手県連では過去4回にわたってクライミングレスキューを実施してきたが、その経験が活きており、デモンストレーションとして指名され対応した。

3 協議事項

- (1) スキルアップ講座(11月12日(日) 9時開始 受付8:30～
滝沢ふるさと交流館チャグチャグホール)
 - ・参加費一人500円 釜石11、胆江3、花巻3、盛岡14、生協2、アウトドア5、RAM9、(+宮城朋友会1) 計48名の参加予定
- (2) 奥羽B協議会会議(岩手県連11月11-12日 八幡平市 中山荘)
 - ・盛岡1、生協1の参加。追加での参加を要請
 - ・秋田が低調で推移しているので、てこ入れしたい。
- (3) 第8回女性と登山全国集会(12月2-3日 埼玉 女性委員会創設40周年記念)
 - ・盛岡3名(中村、小川、村上)アウトドア1名、計4名の参加予定
- (4) 冬山交流登山(岩手山 12月9日(土) 10日(日))
 - ・諸般の事情により中止
- (5) リニア新幹線の凍結、見直しを求める署名活動について
 - ・10月28日自然保護担当者会議で受領
 - ・各会での署名活動の取り組みを要請。足りない分はコピーで対応のこと

専門部報告

●山行管理委員会

■山行リーダー会議の報告（10/18 勤労福祉会館）

山行リーダー（CL&SL）経験者と有志会員を対象に、2年ぶりに山行リーダー会議を開催しましたので概要を報告します。

参加者：三浦(明)、古川、石澤、中村(数)、大倉、松田(幸)、山田(潔)、大森、遠藤(千)、小田(嘉)、工藤(敬)、小原(耕)、久保、渡邊(報告者)

【議題】

1 最近の事故・ヒヤリハットの情報共有

事故・ヒヤリハットの報告件数は、昨年4件、今年4件で一昨年の20件に比べて激減。ヒヤリハットの報告が極端に少なくなっていることについて、報告書でオープンになることに抵抗があるのではとの意見あり。

2 緊急対応カードの見直し案

山行に携行する緊急対応カードの見直し案について意見交換を行った。ポイントは、健康管理チェック票を会に提出するのではなく、緊急対応カードと一緒に携行することと、事故連絡票を事故状況チェック票に変えること。修正意見等あり、引き続き運営委員会で検討することとした。

3 冬山に向けた留意点

2017版について説明。修正点は装備の点検にスノーシューを加えたこと。参考に「山行難易度基準（積雪期）」を配付し、スキーマの技術で「キックステップ」について、バランスを崩しやすいことと体に無理な力がかかるため「方向転換」とい表現に変えるべきとの意見あり修正することとした。

4 フリートーキング

日常の山行活動で感じていることなど、参加者からざっくばらんに情報交換を行った。主な発言は以下のとおり。

- ネット情報で特定の山に登山者が集中し駐車やトイレが大混雑の例あり。
- 会員の力量や健康状態を山行リーダーが客観的に知る手段がほしい。
- 行きたい山と行ける山の違いを知ってもらうにはどうしたらよいか。
- 初心者は自分の体力や力量を判断できないので判断基準がほしい。
- ヒヤリハットの報告を増やすために、報告書ではなく別途メールで受け付けるようにしてはどうか。
- 早池峰で、靴ホックの最上段を外していたために、足を引っ掛け転倒し頭を切った一般登山者を目撃した。

● 教育遭対部

・冬山入門講座 実技 (座学を受けた方対象です)

岩手山の4合目から5合目でピッケル・アイゼンの訓練を行います

日 時 : 11月26日(日)

場 所 : 岩手山馬返しコース

申し込み : 267 中村数博 090-2270-9185

締め切り : 11月18日(土)

打合せ : 11月21日(火) PM6:30 おでつて

・ビーコン訓練、雪洞訓練

日 時 : 12月24日(日)

場 所 : 網張スキー場 白樺ロッジ

申し込み : 378 高橋英里子 080-3327-3448 SMS かメールでお願いします

締め切り : 12月17日(日)

持ち物 : 冬山装備一式、昼食、ビーコン、プループ、スコップ

・冬山入門講座 実技 (座学と岩手山の実技を受けた方対象です)

厳冬期の鶏頭山で森林限界を超えての訓練を行います

日 時 : 1月28日(日)

場 所 : 鶏頭山

申し込み : 454 小原耕 090-6250-0864

締め切り : 1月21日(日)

打ち合せ : 1月24日(水) 例会後

・雪洞訓練

日 時 : 3月21日(祝日)

場 所 : 網張温泉付近

申し込みは氏名と会員番号をお願いします

志向別グループからのお知らせ

◆ グループ銀世界

今年も銀世界のシーズンがやってきます。
第1回のグループ銀世界の定例会を以下のとおり行います。

雪だ！皆
集まれ

日時：平成29年12月7日（木） 18：30～

場所：勤労福祉会館

初心者大歓迎です。スキーがなくても構いません。相談に応じます。
みんなでワクワク計画を話し合しましょう。



行ってきました!

[10月16日～11月12日現在]

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会員	分類
1	10月18日	七時雨山	七時雨山荘コース	紅葉を楽しむ	L吉田(菊)〔会員外〕2名	1	個人
2	10月19日	東根山 (928.4m)	ラ・フランスロ～ 山頂往復	トレーニング	L岡(義)・S高橋(恵)・太田代	3	個人
3	10月19日	安比岳	黒谷地登山口～源 太森分岐～山頂往 復	安比岳の山頂確 認	L本間(典)	1	個人
4	10月19日	東根山	ラ・フランスコー ス	トレーニング	L高橋(英)	1	個人
5	10月21日	秋田駒ヶ岳	秋田八合目～左回 り周回コース	前職場の仲間と 登る	L古川〔会員外〕3名	1	個人
6	10月26日	女神山	尾根コース～山頂 ～県境コース	平日山行を楽し む	L工藤(敬)・S級木・中村(美)・ 日比野・北田・吉田(菊)・佐々 木(善)・佐々木(優)	8	会
7	10月27日	真昼岳 (1,059.9m)	兔平口～山頂往復	トレーニング	L岡(義)・S太田代・高橋 (恵)	3	個人
8	10月28日	八幡平	見返峠～陵雲荘往 復	銀世界薪の荷揚 げ	L古川・S山田(潔)・高橋 (英)・舟越・村田・工藤 (敬)・中村(美)・石澤・日比野	9	会
9	10月29日	南郷岳(横手 市)	お燐堂コース	南郷岳登山	上野〔会員外〕10名 ※お散歩 倶楽部古狸企画	1	他団体
10	11月3日	霞露ヶ岳 (514m)	漣磯海岸～頂上～ 参道～漣磯海岸	陸中海岸の自然 を歩く	L岡(義)・S山崎(祐)・高橋 (恵)・太田代	4	個人
11	11月3日	霊山	霊山庵口～左回り 周回	東北百名山	L千田(勝)・S武田(秀)・中 村(美)・袈地・工藤(敬)・北田・級 木・三澤	8	会
12	11月4日	東根山	ラ・フランスコー ス	トレーニング	L舟越	1	個人
13	11月5日	大胡桃山	猿岩駐車場～手倉 街道～山頂往復	トレーニング& 秋の古道を楽し む	L小田(嘉)・S中村(数)・本間 (典)・高橋(陽)・小田(春)・大倉	6	会
14	11月5日	七時雨山	七時雨山荘～南峰 往復	トレーニング	L松田(希)・S久保・松田(幸)	3	個人
15	11月5日	三ツ石山	網張奥産道コース	トレーニング	L高橋(英)	1	個人
16	11月5日	宇霊羅山	登山口～山頂往復	龍泉洞の上の岩 の山に登る	L古川・S工藤(敬)・熊谷 (久)・加藤(桂)・三澤・佐々 木(善)・渡部(彩)・竹田 (真)・菊地(広)・菊地(良)	10	会
17	11月7日	釜山	釜山公民館～周回 コース	トレーニング	L川村(雅)	1	個人
18	11月7日	姫神山	城内コース	トレーニング	L岡(義)	1	個人
19	11月9日	猫山 (920.2m)、 八森山 (757.8m)	硯石コース、有宇 内峠コース	里山に登る	L本間(典)	1	個人
20	11月10日	傾城峠 (735.9m)、 就志森 (769.8m)	九戸・一戸境の峠 ～傾城峠往復、晴 間沢登山口～就志 森往復	里山に登る	L本間(典)	1	個人
21	11月11日	稲庭岳 (1,078m)	稲庭高原口～山頂 往復	トレーニング	L岡(義)・S太田代・高橋(恵)・加 藤(桂)〔会員外〕1名	3	個人
22	11月11日	姫神山	一本杉～山頂～こ わ坂	親睦を深める	S渡邊〔会員外〕3名 ※笠歩歩 富士見山の会企画	1	他団体
23	11月12日	朝島山	中央コース	朝島山登山	上野〔会員外〕10名 ※お散歩 倶楽部古狸企画	1	他団体
24	11月12日	階上岳、久慈平 岳	しるし平～階上岳 ～南岳往復、キャ ンプ場～久慈平岳 往復	岩手青森県境の 東北百名山に登 る	L松田(徹)・S遠藤(千)・府金 (志)・吉田(菊)・三澤・竹田 (真)・熊谷(久)・千田(勝)	8	会

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容赦ください



姫神山に登った！

No. 476 亀田 金花

夏の終わり頃、9月3日、いよいよ念願の姫神山の話が現実になってきた。新入会や登山教室の参加者がベテランの先輩会員さん達の先導の下、総勢13人で一本杉キャンプ場の登山口から山中に入って行きました。

道中、皆さんからたくさんの面白い話を聞きました。姫神山は女の山で岩手山が男の山で、ふたつの山は夫婦だそうです。山の容姿はとても美しくて麗しいです。

山道に入ると登山者によって踏み固められた道が出来ていて、他にも整備された部分と石畳、木の根道、ごろごろした大石、木道等などとても味わい深い登山道でした。所々に名を知らない小さい花が可憐に咲いていました。

道中たくさんの登山者にも出会い、老若男女みんなの顔に山の楽しみが映っていました。途中、娘の保育園の先生と2人の園児とその親に会いました。お互いびっくりしましたが、話しを聞くと今度の保育園の登山行事の下見とのことでした。その少し前に一緒に登っている周りの人に自分の娘が保育園時代に姫神山に登山したことを話した直後だったので余計驚きました。

8合目までの登りが結構きつかったけれど保育園児に負けられないと思いながら、一生懸命歩いてやっと山頂に到達しました。そこの眺めはもう最高！天気にも恵まれ360度山々の緑が鮮やかでした。お弁当のおにぎりがとてもおいしかったです。山頂で山友会の人たちとお話が弾んで、この日岩手山に登っているグループの人たちに童心に返って手を振ったのが面白かったです。



下山の道は急だったり緩かったり、またとても長く舗装道路に出た頃は足がガクガクしていましたが、そこから駐車場までがまた大変で死ぬかと思うほどでした。だけど一晩寝たら疲れが抜けてあとは楽しい思い出だけでした。

姫神山！近いうちにまた必ずカムバック！

福島の名山に行く 一切経山・磐梯山

No.472 小野 由理

日程 2017年9月23日~24日 テント泊

参加者 CL、古川孝、SL、船越茂雄、工藤敬子、小野由理

行程 9月23日：盛岡南IC 6：00~福島飯坂~11：00浄土平~12：15
吾妻子富士~14：00一切径山登山口~15：20一切径山~16：50
浄土平

9月24日：磐梯山八方台登山口8：00~磐梯山10：30~登山口~13：00

山友会に入会して一年目、初心者が装備も無く初テントで安眠できるか不安でしたが、打ち合わせ時に古川さんから指導頂き毛布・枕を持参しシェラフはお借りする事となりました。御親切に感謝し心強く当日を迎えました。

浄土平に着くと次第に霧が濃くなり視界が悪くなりました。先にテントを設営し吾妻小富士を周回する事になりました。テント設営は船越さんから指導頂き手伝ってみました。意外に中は広いです。天候の回復を待ちながらビジターセンターを見学し浄土平にでると、晴れてきました。一切径山へと向かいます。登山道は石が多く歩に負担がきましたが、頂上から五色沼が見たくて頑張りました。すると！奇跡的に五色沼(魔女の瞳)が見る事ができました。下山は鎌沼経由で周辺は紅葉が見ごろで素晴らしかったです。



テントに戻り夕食会、皆さん慣れているので手早いです。さすがです！メニューは工藤さんのお手製鶏鍋うどんです。温かくてほっとする一時、御自宅畑で育てた自家製の野菜品々と盛りだくさんで楽しく語らいながら頂きました。テント内は意外に温かくガスを使用すると熱いくらい、寒さは気になりませんでした。

明日は磐梯山です。2日連日山行も初めてなので、緊張気味ですが寝ないと・・・シェラフに包まりおやすみなさい。

24日、16:30起床して朝食後テント撤収をして八方台登山口へ移動しました。お天気は快晴です。駐車場は既に登山者で賑わっていました。

弘法清水で休憩、山小屋のなめこ汁が名物のようです。食事提供している山小屋は岩手には無く珍しい光景を見れました。

山頂への登山道は混み合いでしたが登山者とすれ違いながら進みました。

登頂すると360度の眺望でした。猪苗代湖が眼下に見え頂上からは周囲の湖が桧原湖、秋元湖と福島は湖が多くて目の保養になります。磐梯山は宝の山ですね。

最初は、躊躇していた1泊2日テント泊でしたが、貴重な福島の名山を安全に登れたのは先輩方からの御指導と山友会に入会したからこそ出来た経験だと思いました。

😊 皆様大変お世話になりありがとうございました！





丹沢山系登山報告

記録 中村美栄子

(写真は本間 典)

2017年10月2日(月)～3日(火)

プロローグ…9月の県連の県外山行を楽しみにしていたが、参加者不足で中止になった。私にしては珍しく、1か月以上前から地形図を読み、思いを巡らしていた。やはり行きたい!! と いうことで個人企画として行くことになった。

参加者=CL本間典 SL級木信子 工藤敬子 北田絹恵 中村美栄子

10月1日(日) 盛岡南IC11:30～(途中2回の休憩)～神奈川県秦野中井ICで一般道へ。夕食を摂り19:30 宿の大倉山の家に入る。

10月2日(月) **塔の岳(1491m)～丹沢山(1567m)～蛭が岳(1673m)**

宿6:55 発～8:50 駒止の茶屋～9:25 堀山の家～10:45 花立山荘(トイレあり)～11:45 塔の岳(尊仏山荘昼食)12:15～13:05 竜ヶ馬場～13:45 丹沢山～14:25 不動の峰～15:50 蛭が岳山荘(泊)

最初から**ヒル情報**があり緊張する。ヒル忌避剤のスプレーを念入りに吹き付けてもらい大倉尾根に向かう。登山口には登山道の案内板とヒル駆除用の塩が置いてあった。登山道は良く整備された木道、階段が延々と続き、他の登山者にはどんどん追い越される。塔の岳の**尊仏山荘**の前は太めの角材のベンチが階段状に一面におかれている。山荘は何か買わなければ中で休憩ができないということで、コーヒーやお茶を注文し昼食とする。まだまだ長い先を思い少々うんざりしていたら、ここから先はここまでより楽ですとのことで少し気分的に楽になる。それでも相変わらずのアップダウンで、予定より遅れているからと、丹沢山では写真を撮っただけで先を急ぐ。

不動の峰は眺めが良く、休憩所もある。鬼ヶ岩の頭は思いがけず結構な厳しい岩場だったが、全員無事に通過する。**蛭が岳山荘**には約1時間遅れで到着する管理人曰く、内心キャンセルかなーと思っていた由。ガスって寒い。頂上は?と聞くと50歩 とのこと、ザックを下さずそのまま頂上へ。**丹沢山系の最高峰蛭が岳**は草原に三角点があるという感じの山頂だった。小屋



に入って登山会員のため500円引きで会計を済ませる(会の計画書提示だけでOKとのこと)。抹茶を飲むかと聞かれ、Kさん持参のバウムクーヘンと一緒に一息つく。部屋は大部

屋で何十人も泊まれそうで貸切状態。夕食はレトルトカレーだったが、御飯は美味しかった。おかずはつまみ様のものだが種類が多く、栄養的には良く考えられているように思われた。夜半から雨になる。

10月3日(火) 蛭が岳～丹沢山～塔の岳～鍋割山(1272m)

蛭が岳山荘 5:10～丹沢山 7:05 / :20～塔の岳 8:45～鍋割山 10:40～後沢乗越 12:00(昼食)12:45～大倉山の家 14:15

前日の山行状態から出発を1時間早めにするにすることで、朝食時間を相談すると快く応じてくれた。ヘッテンをつけ、小雨の中を濡れた木道や階段に気を付けながら出発するが、意外に滑らなかった。雨の時には特にヒルに気を付けなければと目をこらしていたらやはりいた!! でも意外に少ない。この山行で見つけたヒルは2匹だけだった。管理人の話では、蛭が岳は冬は-20℃にもなるからヒルはいない、いるのは人間や動物が持ってくるからとのことだった。

往路には時間遅れで丹沢山の**みやま山荘**はスルーしたが、帰りは小屋に入り軽食を摂り少し休む。塔の岳では小休止ただけで歩を進め、20分ほどで鍋割山への金冷シ分岐にでる。大丸・小丸へとアップダウンを繰り返すが、だんだん脚が重くなりペースが落ちる。苦しい思いをした割には**鍋割山**は、小屋のそばの平坦地に標識があるだけだった。小屋は閉まっていたが、間もなく50～60kgもあるかと思われる荷物を背負って管理人が上ってきたが、営業時間はまだとのこと、そのまま下山する。鍋割山稜は後沢乗越まで急斜面の連続で木道と階段の繰り返しであるが、主脈コースよりは手が入っていないように思われる。尾根を離れミズヒ沢、本沢沿いに二俣に着く。ヒズミ沢付近からは、車両も通行可能な様な立派な林道が続き大倉の集落に出る。



2日間とも9時間ほどの山行だった。秦野市内の入浴施設で汗を流し帰路に着く。

- 1.丹沢主脈:よく整備され、木道、階段が80～90%位占めている様に思われる。
- 2.鍋割山稜:よく整備されているが、主脈ほど手が入られていない。
- 3.道標が整備され安心して山行が出来る。
- 4.全体的に植生保護のため、獣道を確保した柵が張り巡らされ、手入れが行き届いていると思われた。



秋田の名山 太平山

NO.234 古川孝

山行日：平成 29 年 10 月 8 日

メンバー：(敬称略) 本間、工藤、褰地、熊谷、北田、級木、古川

太平山の名は、昔「酒は天下の太平山」というCMがあり知っていましたし、また、秋田県立美術館の藤田嗣治の「秋田の行事」という超大作の中に太平山が描かれており、秋田県人にとっては大切な山であることを感じていましたが、なかなか行く機会がありませんでした。級木さんから企画が出されたので、翌日の八甲田山と連チャンでしたが申し込みました。工藤さんからは、厳しい岩場があると聞きました。

当日は 5 時に雫石総合運動公園出発し、本間さんの案内で角館から農免道に入って進み、しばらくすると大きな鳥居をくぐり、太平山リゾート公園を過ぎてさらに狭い山道を進むと登山口でした。登山口すぐかかっている橋は少し前の大雨で流されており上流を迂回しました。その後宝蔵山コースへの分岐から急坂を登り、その後緩急をつけた登りがあり、稜線に出ました。紅葉は下の方はまだでしたが、上の方から進んでいました。

本日の核心部、岩場の弟子還（でしがえし）に到達。大平山は修験道の山で、昔は弟子をここで帰したとのこと。急で長い岩場が続き、鎖がありました。鎖に頼らないでと思いつつも、私にその余裕はなく、久しぶりに緊張し何とか登ることができました。その後一息休憩してから、頂上に着きました。



頂上は太平山三吉神社総本宮となっており、神社のほかに宿泊所もありました。頂上からは 360 度の視界が広がり、日本海、男鹿半島が美しく見られました。早池峰山も確認できました。



太平山は登山者も多く、標高は 1170 m と決して高くはありませんが、秋田県の名山であることを実感されました。

下りは周回コースで、弟子還のような厳しい箇所はなく、鳥居や古い地蔵など歴史を感じさせるコースでした。

秋田市に近く、創建 13 百年余の古い歴史を持ち、歴代の佐竹藩の藩主に崇敬されてきた太平山はやはり名山でした。



滝の女神山

423 小川 優子

日程 2017年10月15日(日)

参加者 CL: 岡義弘 SL: 太田代恵久子 川村雅子 加藤桂子 亀田栄一郎
亀田金花 小川優子

行程 繫駐車場 7:30~登山口駐車場 9:05~登山口 9:15~女神山登山口 9:25
~県境分コース 10:40~頂上 11:05/11:20~女神山登山口 12:50~白糸
の滝 13:10/13:30~駐車場 14:10~繫駐車場 15:30

女神山、知らない山でした。本で調べると秋田との県境の滝がたくさんある山らしい。名前から綺麗な山を想像していました。

当日、待ち合わせの繫には早く着いてしまいましたが、幸い朝市があったのでちょっと見学、御振舞の卵スープをもらったりおいしそうなお野菜や団子を見て楽しみました。そこからみんなで車で移動。山近くなるとすれ違いギリギリの細い道。落っこちそう、と心配していましたが、登山口に着くとマイクロバスが止まっている。さすがはプロの運転手だと感心しました。

今日は曇りの天気。紅葉は日が差すと、映えるので晴天になるように願いつつ出発。最初は下りの階段。これから登るのに下がる。すぐに白糸の滝が表れる遠目ながらもきれいな滝。(後日、岩手日報に近くからの写真が載る)横目でみつつ、まず山頂へ向かって進む。坂を登ると木立の中。ところどころ日が差し、きれい。うれしくなってきました。歩いているだけで楽しくなってくる。

山頂は、少し木を刈っていたのか片側見晴らしが良い。遠く山々を眺める。

休んでいるとマイクロバスの団体さんからすれちがいに、本日、熊出現の話。坂を上がってゆるくなったところって、さっき通ってきた道。ブナ林のきれいな所? ブナの実探しに来た? ああ、ここは熊の生活圏内。私たちがお邪魔しにきているのである。いて当然である。騒がしてごめんなさい。この女神山のブナ林の紅葉と滝を観にきました。登山道以外には行かないので出てこないでください。と願いつつ、爆竹を鳴らしてみる。今日は7人グループでおしゃべりしたりしているので、とってもにぎやか、また日曜ということもあって他の登山グループともすれ違うのでまあ、大丈夫と信じて行く。

あっち側が秋田との県境。山の深さを感じる。下っていると、ところどころブナ

林が切れて溪谷が顔をだす。秋の紅葉。今年は黄色が多いかな。それともここは赤が少ないところなのかな？一面の紅葉。これもうれしい。

最後に滝を観に寄ってみる、ブナ林と違って小川沿いの道はジメジメしている。滝は落差があつてほどよい感じ。滝がたくさんあると聞いて、水の豊富な山なのかな。と思う。人気エリアなので、また団体さんとすれ違い。みんなもじっくり見たいよね。いいよね。

ブナ林もきれい、山々が深いのも楽しい、滝も気持ちよい。素敵な山行でした。帰りは当然、繫で温泉入ってサッパリして帰りました。



救急法・普通救命講習会

No. 277 松田 徹

平成29年10月29日（日）

台風接近の雨の日曜日 滝沢市市民福祉センター1階の大広間で救急・救命講習会が行われた。午前中は救命救急・心肺蘇生法 午後は教育遭対部のメンバーによる登山者のための応急手当の講習が行われました。参加者は、遭対部含め18人。私が講習を受けるのも4年ぶりです。期限切れ状態でした。

普通救命は盛岡広域消防滝沢分署の熊谷さんと臼澤さんによる救急事情やAEDの実習等です。AED講習を全国で年間約200万人が受講しているが、実際必要場面に接すると半分以下しか対応しないそうです。

街中で119番通報で救急車を呼んだ場合、平均9分で到着するそうで、救急車到着までの間の心肺蘇生・AED使用が重要で、生き返ったとしても重篤なマヒが残ったりするそうです。また、救急車要請電話の49%が軽症で、話し相手が欲しい常連者も多いそうです。

山で救助が必要な場面に遭遇した場合は、天候状態が良ければ119番でヘリの要請をしてくださいとのこと。岩手県の場合、花巻空港から防災ヘリが15分で飛んでくるそうです。また、ドクターヘリは矢巾から現場に来るようです。現在の防災ヘリは高出力高性能で定員13人・緊急時17人でホバリング状態で収容できるそうですが、ドクターヘリは小さいので着陸して救命・収容・移送するとのこと。定員6人です。

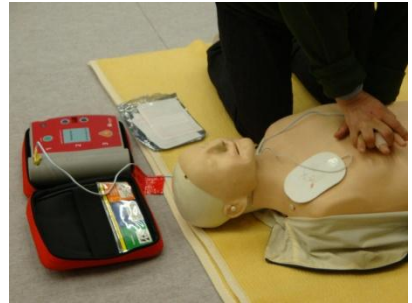
ちなみに救急要請の場合は110番より119番のほうが、スムーズなそうです。事件や死亡事例は110番です。

お話の後、AED実習を2班に分かれて9人・9人で行いました。4年前と何処が違うか忘れてますが、1分間に100～120回のペースで30回胸骨圧迫して2回人工呼吸を繰り返し続けることが重要とのこと。AEDが到着したら案内アナウンスに従い操作し、また胸部圧迫と人工呼吸を救急車やヘリが到着するまで交代で施すことが必要。脳に血液を循環させることが目的です。

昼食休憩をはさんで午後は、教育遭対部の中村（数）・松田（幸）・小原・高橋（英）4名が講師となり講習・実習が行われました。

テーピングによる足首のねんざ予防・ふくらはぎのつり防止・膝の痛み緩和・足裏の疲れ予防、サムスプリントを使った固定法、三角巾を使った傷口保護や固定法、止血の方法、ストックによる松葉づえの作り方・簡易担架移送法などの応急手当・救急法の実習が行われました。また伸縮バンテージ(包帯)は薬局よりもダイソー(百均)で販売しており安く済むようです。

盛りだくさんで充実した講習会でした。消防署の2名、教育遭対部の4名ありがとうございました。



エッセー ある日、ある時

淡 望天 No.354

“<登山は文化?>”

時々、スポーツ文化とか登山文化という文字に出会う。はあ、スポーツとか登山は文化なの?という気分。お花、能、茶道、歌舞伎などはなんとなく日本文化だと思う。文化という言葉からは、昔からのよき風俗習慣が今も残って、晴れの舞台があり、見て、やって、楽しいという感がある。スポーツとなると身体の闘争なのだから、芸術文化が醸し出す、なんとなく、高尚な、雅やかな雰囲気とは違うのではないかと思ってしまう。

空手も剣道も、今ではオリンピック種目のスポーツとなっている。でも、明治以前までは、生死の戦いの護身術、生き残り用の道具だった。護身術からスポーツに変身したからといって、護身術としての型が変わったわけではない。身体の優劣ではなく、心と身体的一致による生き残りのための型へと価値の転換をしたから文化となったのかもしれない。外国からやってきたスポーツ、野球やテニスは明治以前の日本にはない。しかし日本に入ってから一世紀以上になる。共通の型があり、その型に従って、楽しみ、生活する人々がいて、さらに長い時間の流れがあれば、文化ということになるらしい。

山登りもスポーツだと思えば文化になる。だが、文化のつもりで登山する人はいないだろう。文化かどうかはどうでもよい。ただ楽しいから登山するだけというのが普通かも。スポーツなら対戦相手がいる。山登りには人じゃなくて山が相手だ。山が相手でも文化と言えるのはなぜだろう。

文化というと文明ということばも頭に浮かぶ。どちらも頭に<文>という文字をつけているが、中身が違う。だから、スポーツ文明ということばはない。どう違うのかを考えると、頭が痛くなる。

紅葉の季節というわけで、会津駒ヶ岳に登ることになった。盛岡から、登山口までの距離を考えたら、江戸時代なら最初から無理。もっとも、その時代には登ろうとする人は修験者ぐらいだ。現代だから、文明の利器を使えばよい。と思ったら、新幹線、JRの在来線、私鉄、バスという文明の利器を使いきっても、なんと7時間以上もかかった。京都に行くには、新幹線を乗り継ぎして、5時間ほどで行ける。会津までの距離の3倍もあるのに、所要時間は短いのだ。文明とはその光が当たる場所と当たらない場所では、格差がひどくなる。

翌日、盛岡への最終のバスや電車に乗り遅れないように早朝出発。民宿の車で、歩けば30分もかかる道を10分ほどで登山口に到着。これも車という文明のおかげ。5時に登山口を出発。まだ夜明け前なので、薄暗い。ヘッド・ライトを付ける。まわりは暗くとも、足元を強烈な光が照らすので安心。この道具も文明の利器。ところが、自分の光が弱いこ

とに気づく。後ろの人の光の方が明るい。前日、道具をそろえる時、電燈がつくことを確認した。昼の明るさのもとだった。電球は光っていたのだが、明るさまでは分からなかった。失敗と思ったが後の祭り。文明とは使い方を間違えると命にかかわる。

山登りをするには、移動の車から、衣類、靴、登山用品のすべてが文明の利器。登山文明とっていいぐらい。でも、スポーツ文明も登山文明というのも聞いたことがない。どうしてなのだろう。

やがて、薄明りがさしてきた。太陽による自然の光に包まれ始めた。一極集中型のヘッド・ライトは自分のまわりだけを照らす、というか、向かう方向だけしか照らせない。一方太陽は足元を明るくするだけでなく、歩く必要のない藪でも、遠くの山々でも、まんべんなく明るくする。誰にでも、わけ隔てなく、何にでも惜しげなく与えるのが大自然の太陽光だ。文明の利器はその目的以外には無力となる。

文という漢字の話。はるか昔の日本についての書、魏志倭人伝には狗奴国の人は入れ墨をしていると書かれている。江戸末期までアイヌの人たちも入れ墨をしていた。この入れ墨のことを文身（ぶんしん）という。文という文字は、死者の胸の部分の衣を広げ、呪い除けの絵文字を胸に書きこみ、聖化する形を示したという。絵文字の書きこまれた身体が文身、つまり入れ墨をした身体。入れ墨は一生消えることがない。漢字が示す文化という意味は、死後といえども聖化され、永遠不滅になること、つまり繰り返し甦ることのようだ。

「散（ざん）切り頭を叩いてみれば、文明開化の音がする」。ヨーロッパの文明が日本を襲う。明治の人々は、ちょん髷をすて、ざん切り頭に変えた。ちょん髷文化からざん切り文化へ変わったのだ。欧米の文明に追いつき、追い越せという走り続けの文明社会に日本は突入する。文明は最新のものにこそ価値がある。二番目ではだめですかというのは文明を知らない人の発想だ。古いものは捨て、つねに新しいものを求めなければ、敗者の文明となる。生き延びるためには、同じことの繰り返しでは勝負にならない。

さて文化はというと、これは文明と違う。繰り返すことが基本。型を護る人々が死滅した時、型（ルール）を護れなくなる。その時、その文化は滅ぶ。アイヌ文化は過去のものとなった。アイヌ文化を繰り返すアイヌ人が日本人化したのだ。ある風俗、習慣を身につけた人々が生きている限り、新しい文化の影響は受けても、古い型に新しい型を受け入れつつ、変容はしても文化は生き残る。文化を受け継ぐ人々が死ねば、その文化も死ぬ。

ヨーロッパから来た文化を示すカルチャーという言葉は「耕す」という意味から来ている。畑とは自然の一角を切り開いたところだ。胸の部分の衣類を広げ、入れ墨するように。自然の一部を切り開き（開拓し）、毎年種をまき収穫するという刻印を畑に押し続ける。同じことの繰り返し、これが文化となる。

なぜ同じことを繰り返すことができるのだろうか。昼と夜、四季の繰り返しという大いなる自然の法則（型）に従うからだ。自然界が決めたルールに従うと同じことを繰り返すことになる。

スポーツにはルールがある。ルールに従っているから、試合のやり方は同じことの繰り返しである。繰り返しには飽きがある。だがスポーツはやり方は同じでも、相手も代わり、結果も変わる。同じでない部分がある。だから面白くて、止められない。

山登りは文化と言えるのだろうか。相手は山という自然物。登山道を進む限り、登るルートはいつも同じ。同じ山ならいつもその頂上は同じ。繰り返すのが文化だというのが、なんの変化もなければ厭きられてしまう。というような心配は全くいらない。なんと同じ登山道を使っても、一度として同じ体験はできない。その日の天候、同行者、季節の違い、絶対に同じ条件にはならない。山に登るほど、厭きることがなくなる。同じことの繰り返しのはずが、一度として同じにならない。

同じことを繰り返すが、決して同じにはならないというのが文化というものらしい。山登りをしても、同じ山道で同じ山頂では厭きてしまうのなら、山登りは文化ではない。しかし、山に登る人たちは、同じ道、同じ山頂に立っても、同じ経験をすることがないということを知っている。同じことをしても同じにならないというのが文化の魅力なのだ。

文明は同じことの繰り返しを否定する。文化は同じことの繰り返しの中から、違いを感じ取る。しかし、人間の欲望は限りない。よりよい楽しみを求めるためには、違う方向を持つこの文明と文化は、互いにその相手を必要とする。

交流の広場

ラジウスって何だ？

国語辞典を調べると・・・
登山用の石油コンロ。ラジュース。
だそうです。

スウェーデンで 1892 年に加圧式パラフィン（灯油）ストーブが PRIMUS の創業者によって開発されました。当時の家庭用コンロは薪や石炭が燃料だったため画期的な発明でした。

PRIMUS の灯油ストーブは 1911 年人類初の南極点に到着を果たしたアムンゼンや 1953 年エベレストに初登頂したヒラリーにも使用されました。

植村直己さんも愛用者です。

今では PRIMUS と言えば黄色のガスストーブですね。

私が使っていた灯油ストーブは OPTIMUS というメーカーの 00 というモデルでスウェーデン製です。

100 年以上同じ構造で生産されていました。

真鍮で使い込むほどに味が出て金色からだんだん黒ずんできます。

操作もプレーヒート→ポンピング(気化した灯油が出てくる)→点火。

火力の調整はポンピングを多くすれば強

くなり圧カバルブを開けば弱くなり全開で消火します。

スズでノズルが詰まるのでマンドリンで清掃する必要があります。

小型のもので重さが 960 g です。

残念ながら OPTIMUS の灯油ストーブは廃番になりガソリンストーブのみになったようです。

ヤフーオークションで検索したら 20000 円位します。値上がりしていてビックリしました。

会報部員のひとこと

今はガスストーブがメインの時代になりました。

小型のものは 63 g、大人数用の大型のもので 200 g 位です。

さすがに 960 g の灯油ストーブを担いで山に登る気にはなりません。ラジウスは高校時代の思い出です。灯油は臭く気化したガスは目にしみます。

下手なヤツはプレーヒート不足で生灯油を噴出させ火柱を上げていました。

時間がかかるので起きたらまずコンロに火を点けるのがルールでした。「起きたらまずお湯を沸かす」は今でも私の癖になっています。

No.279 松田幸久

— 使者（試作1） —

鹿の絵を描こうと思ったのは、春に11月号の表紙を頼まれてすぐに決めていました。

最近、鹿が増えて鹿害が深刻になってきて、駆除した鹿肉をジビエとして活用することがよく話題になっているので、食欲の秋ということで鹿を描こうと思ったのです(笑)

鹿はまだ食べたことがないですが、ふうぼうから察するに桜肉に近そうだな、と思っていたのですが、実は馬より牛に近いんだそうです。

さらにカモシカと鹿は別種でカモシカの方がさらに牛に近いのだそう！

鹿の姿はなかなか神々しく良いモチーフだと思い、何回か試作を描いていつかしっかりした作品をしあげたいと思いました。

鹿の前に葉っぱをかぶせるのは決めていましたがシダ植物にしたのは描くのが難しくて失敗でした(笑)

No.461 中村 篤

あかげら 第348号

2017年11月22日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 辰巳和司

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

■盛岡山友会のホームページ■

http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に！～